

新庁舎建設かわら版

vol. 3

～特別号～

発行：各務原市企画総務部 管財課 庁舎等建設係
電話：058(383)1619（直通）
市ウェブサイト：http://www.city.kakamigahara.lg.jp/12581/012580.html

新庁舎の実施設計が完成

新庁舎建設事業については、基本設計に引き続き、詳細な仕様を決定する実施設計を進めてきました。

このたび、実施設計が完了しましたので、その概要をお知らせします。

今後は、2021年度の高層棟完成、2022年度の新庁舎全面完成を目指し、施工業者の選定手続きを進め、今年夏ごろに工事に着手する予定です。

新庁舎概要

●建設場所

那加桜町1丁目69番地（現庁舎敷地）

●敷地面積

1万2467㎡

●延床面積

1万6803㎡（高層棟、低層棟、屋根付き駐車場等付属建物）

●建築面積

4195㎡

●構造

高層棟：鉄筋コンクリート造・免震構造、直接基礎（地盤改良）
低層棟：鉄骨造・耐震構造、直接基礎（地盤改良）



外観イメージパース

●階数

地下1階・地上7階建て

●駐車場等

来庁者用駐車場 162台

（うち、障がい者等用駐車場7台、おもいやり駐車場8台）

公用車駐車場（高層棟地下60台）

駐輪場 80台

バイク駐車場 5台

基本理念

市民の安全・安心な暮らしを支え、みんなにやさしい庁舎

設計コンセプト

「ものづくり」の活力と「おもてなし」の心で「まち」をつなぎ、市民の誇りになる新庁舎

今後のスケジュール（予定）

今年度（2021年度）に新庁舎建設着手します。2021年7月に高層棟完成、2022年11月に低層棟、駐車場や外構工事を含む事業全体の完成を目指します。

※新庁舎建設工事中は、来庁者駐車場の縮小などご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

年度	2018	2019	2020	2021	2022
設計	実施設計				
工事		工事着工		2021.7 高層棟完成 現庁舎解体 外構など整備	2022.11 低層棟完成 全面完成

	高層棟	低層棟
7階	機械室	—
6階	議会フロア	—
5階	執務フロア	—
4階	執務フロア、共用会議室エリア（災害対策本部）	—
3階	執務フロア	—
2階	窓口フロア	執務フロア
1階	窓口フロア	市民ギャラリー併設カフェ、銀行 ATM
地下1階	公用車駐車場、機械室	—

フロア配置



1階窓口空間イメージ



執務エリアの内観イメージ

新庁舎の目指す姿

市民に親しまれる庁舎

「各務原らしさ」を表現した
外観

●「おもてなし」と「航空宇宙産業の活発な都市」としての顔づくり

新庁舎は、旧中山道の宿場町の風景を受け継ぐ格子をイメージした外装デザインとし、飛行機の翼のように太らかな屋根と庇で新庁舎全体を特徴づけます。



低層棟にかけて飛行機の翼のような伸びやかな庇を表現

●新庁舎を訪れる市民の表玄関としての顔づくり

新庁舎の表玄関として、「かかみの庭」を計画し、庁舎と一体的につながった空間とします。

防災拠点の機能を果たせる庁舎

●地震に強い「免震構造」の採用

災害対策本部が設置される高層棟には免震構造を採用します。

●インフラ途絶時のバックアップ機能の強化

7日連続運転が可能な自家発電設備、上水・雑用水の水源の確保、マンホールトイレの設置など、インフラ途絶時にも庁舎機能を維持します。



太陽光パネルイメージ

経済性に配慮した環境にやさしい庁舎

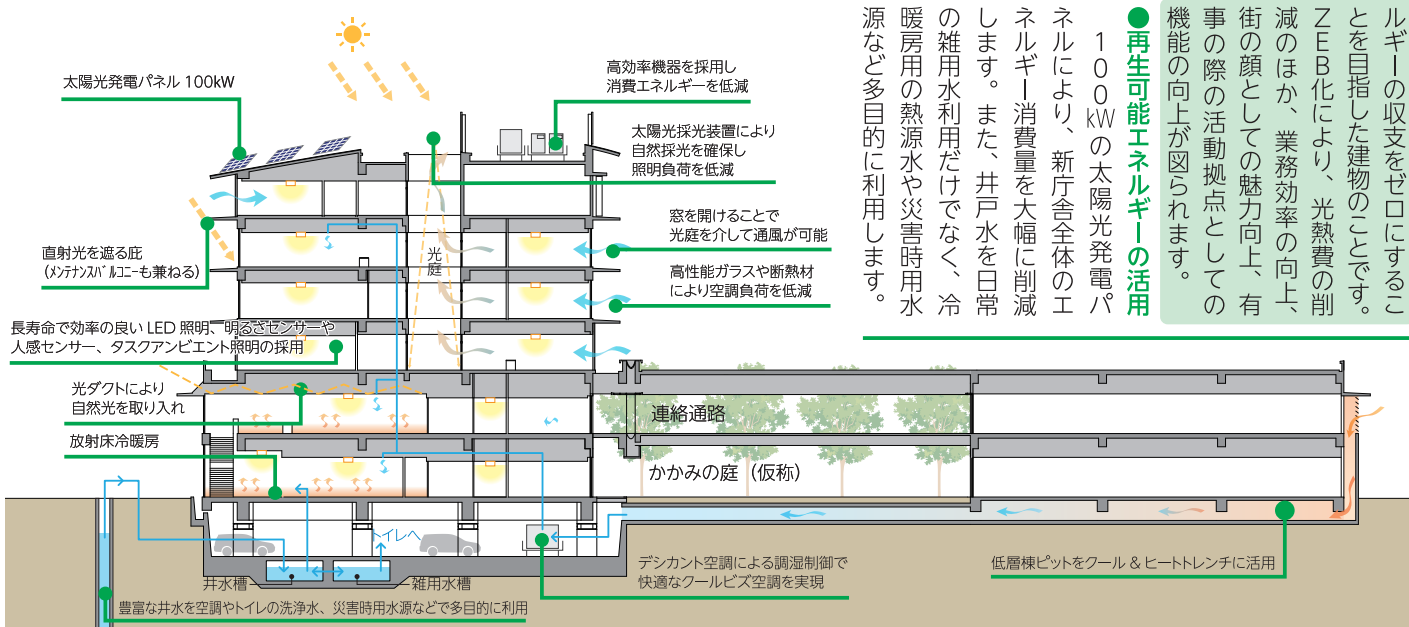
●県内初のZEB^{*}化庁舎

負荷の抑制・自然エネルギーの利用を行った上で、設備システムの高効率化により、50%以上のエネルギー消費量の削減を目指します。

※ZEBとは、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー



免震装置イメージ



さまざまな環境配慮計画（イメージ図）

誰もが利用しやすい
庁舎

●全ての来庁者にとってわかりやすく見通しの良い単純明快な施設構成

市民の利用頻度が高い窓口を高層棟1、2階に集約し、全体が視認しやすい施設構成とします。

●ユニバーサルデザインの徹底

「多目的トイレ」や「車いす優先トイレ」の設置、広い階段・エレベーター・廊下、授乳室、キッズスペース、点字ブロック、分かりやすい案内表示などを適切に配置します。



多目的トイレイメージ

今後とも、「市民の安全・安心な暮らしを支えるみんなにやさしい庁舎」を目指して、着実、計画的に取り組んでまいります。